

大切なのはやる気と情熱

徳島市立高校と板野高校で開かれた「高校生のため

の文化講演会」(徳島新聞社、一ツ橋芸術教育振興会主催)。月刊誌「味の手帖」編集顧問のマッキー牧元

さんが飲食業の面白さを紹介し、「大切なのは、やる

気と情熱。職人たちの生き方に学ぼう」と呼び掛け

た。(田尾聰)

が少くない。

牧元さんは「仕事が

自分に合うか合わない

かではなく、仕事に自

分を合わせることが大

切だ」との考えを小野

さんから聞かされたこ

とを紹介。仕事に対し

て、厳しい姿勢を貫く

姿に感銘を受けたこと

を話した。

さまざまな人物を取

材する中で「職人には

共通する五つの要素が

あることも気付い

た」とも述べた。日々

の仕事に手を抜かない

真面目さ、向上心、清

潔感、やりたいことを

やり抜く頑固さ、情

熱。これらは米大リーグ

で活躍するイチロー

や元サッカー選手の中

田英寿さんをインスピ

ューレーした際にも感じた

そうで「料理やスポー

ツなど、多くの分野に

通じる大切な心構え」

と強調した。

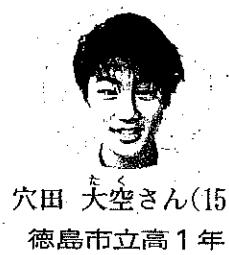
大阪の新梅田食道街

にある小料理屋「森

清」のおかみ森岡清子

食文化に関することだけ
でなく、人としての生き方
について学び、考えること
ができた。紹介されたおか
みや料理人は、皆努力を重
ね、それを継続している人
ばかり。私もその姿勢を見
習いたいと思った。

料理に対する搖るぎない
信念を持つ人々が、年齢
を重ねても元気に働いてい
ることを知つて刺激を受け
た。普段食べている料理に
も、たくさんの人の思いが
詰まっていることを知ること
ができる良かった。



穴田 大空さん(15)
徳島市立高1年



大西 真央さん(16)
徳島市立高1年

感

想

飲食業に携わる人々の魅力を語るマッキー

牧元さん』徳島市の徳島市立高校

高校生のための文化講演会

月刊誌『マッキー牧元さん』



職人の生き方に学ぼう

さんの大らかさ、現役最高齢の赤坂の芸者として知られる育子さんが、自分の生き方を語る。牧元さんは「仕事が自分に合うか合わないかではなく、仕事に自分が自分を合わせることが大切だ」との考え方を小野さんから聞かされたことを紹介。仕事に対して、厳しい姿勢を貫く姿に感銘を受けたことを話した。

さまざまな人物を取材する中で「職人には、なつた」と場をなごま共通する五つの要素があることに気付いた」とも述べた。日々の仕事に手を抜かない

心を失わず、舞を披露せたことを紹介。育子さんに聞いては向上了が、機転を利かせたが、機転を利かせたところを紹介。育子さんは「常に上を目指すことが重要」と話した。

仕事を通してさまざまな出会いを経験し、また、おもしろいものよりも、おいしいものが好きだと

牧元さんは「何が一番好きかと聞かれたとき、人が好き」と思えるよ

うになった。飲食業界には多くの魅力があり、「料理人のなり手

は減っているが、明るい未来はある」と言葉に力を込めた。